

◆ 国際交流・海外留学

あなたのミライを探しに佐賀大学のキャンパスへ
そして、世界のキャンパスへ



異なる文化や価値観を持つ多様な人々と対話し、共感し、協働する機会に溢れています

◆ ランゲージラウンジ

お昼休みの1時間に外国語で会話を楽しむ活動です。日本語、英語、韓国語、中国語、インドネシア語などのグループがあり、外国語や海外に興味のある日本人学生と留学生と一緒にディスカッションをしたり、ゲームをしたり、それぞれの国の文化を紹介し合うなどの多言語での交流を行っています。



◆ 佐賀大学 Global Leaders



キャンパスで共に学び活動する留学生と日本人学生の垣根を無くし、文化や言語の違いを楽しみながら学生生活を充実させるために学生ならではのアイデアと機動力を活かして交流活動を企画・運営しています。語学力、異文化に関する知識、コミュニケーションスキルなど、学びの成果をキャンパスで実践・発揮しています。

◆ 留学生のサポーターから友達に



留学生との交流の機会はイベントだけではなくありません。留学生のチューターとして学習や生活のサポートを行ったり、日本語授業のボランティアをしたり、3週間のサマープログラムに参加する留学生のパディ(友達)になることもできます。日本に居ながらにして留学をしているような異文化体験が得られます。

佐賀大学に在籍する 留学生の出身国・地域

アジア

中国・台湾・韓国・インドネシア・マレーシア・ベトナム・タイ・カンボジア・ミャンマー・ネパール・スリランカ・バングラデシュ・パキスタン・ラオス

アフリカ

エジプト・チュニジア・モザンビーク・モロッコ・セネガル・サントメプリンシペ・ナイジェリア・南スーダン

ヨーロッパ

フランス・フィンランド・ドイツ・オランダ・リトアニア

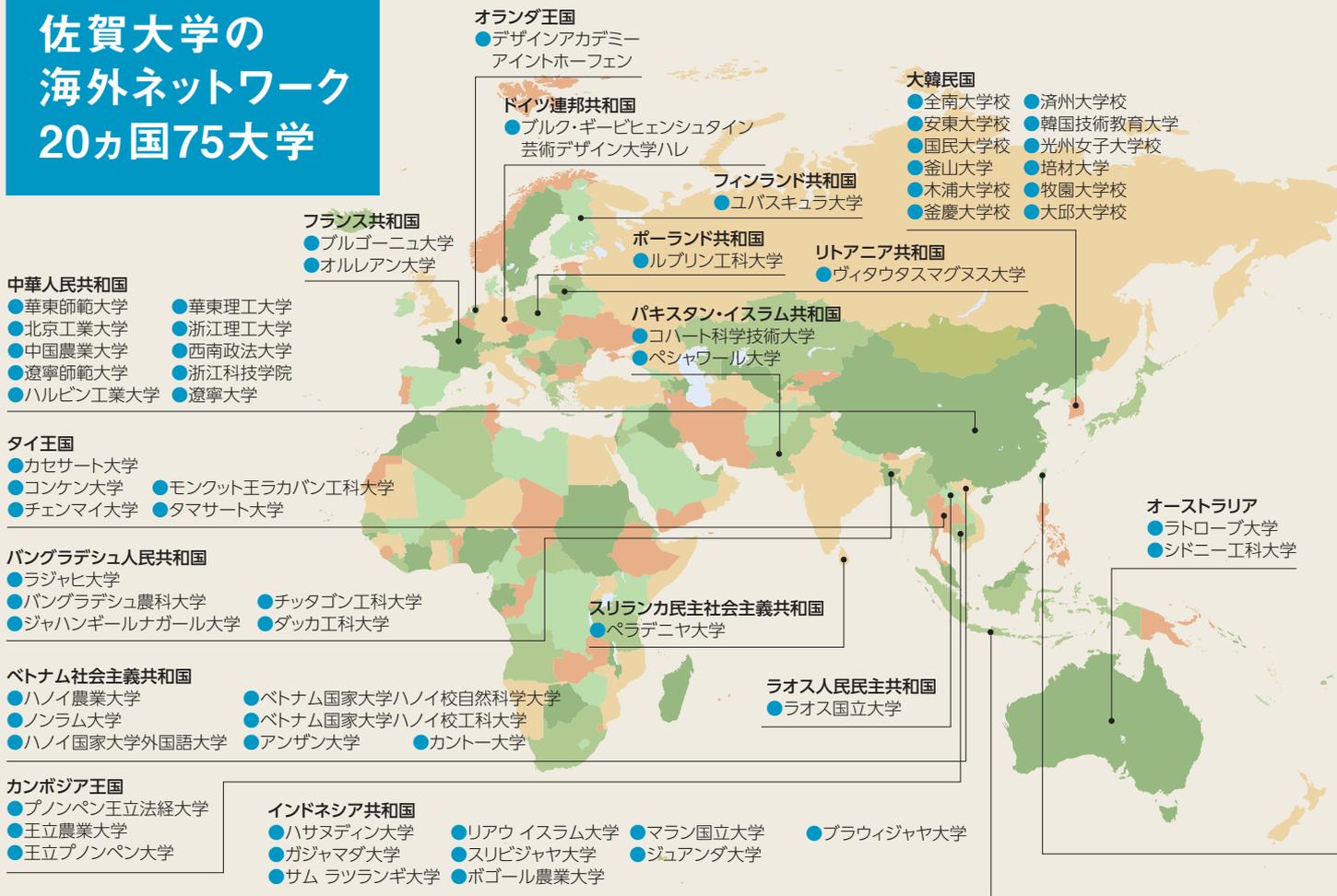
オセアニア: オーストラリア

北米: アメリカ

計29カ国

(2017年5月現在)

佐賀大学の海外ネットワーク 20カ国75大学



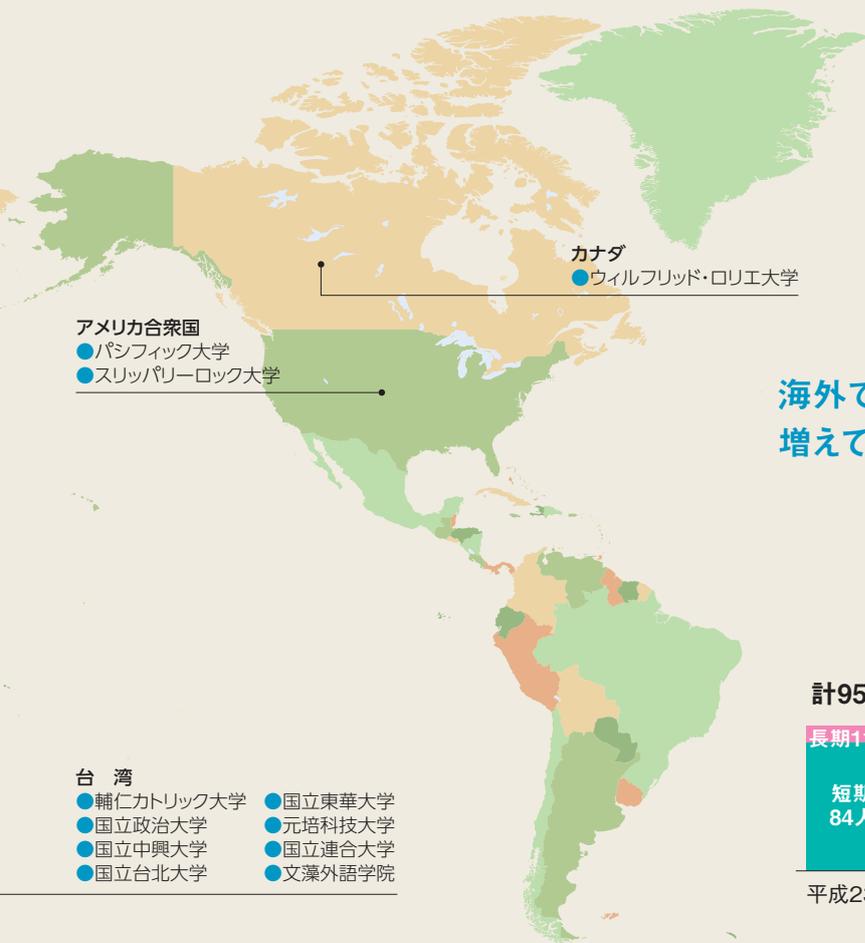
※大学間協定(学生交流)を結ぶ協定校のみ表示

短期海外プログラム SAGA UNIVERSITY STUDY ABROAD PROGRAM (SUSAP)

長期休暇を利用した10日から1ヶ月程度の全学部の学生対象プログラムです。単なる語学研修ではなく、学生各々がもつ関心や伸ばしたいスキル、将来のビジョンに応じて選択できるよう多彩なプログラムがあります。海外の学生との協働プロジェクトや交流、海外で活躍する佐賀県出身者との意見交換など、短期間であっても海外で異なる文化や価値観に触れながら国際的な視野を育みます。

<p>大邱大学校プログラム (韓国)</p> <p>3週間・約5万円</p> <p>毎日4時間の韓国語授業の他、韓国の伝統工芸や歌謡、映画等の体験型学習を通して韓国文化を学ぶ。</p>	<p>LEAF プログラム (カナダ)</p> <p>18日間・約20万円</p> <p>ビジネス英語と北米のビジネス文化を、多様な国籍の学生とのグループワークを通して学ぶ。</p>	<p>東華大学プログラム (台湾)</p> <p>5週間・約1万円</p> <p>各々の専門分野の授業を英語で受講。現地学生との交流から台湾人の考え方、大学文化などを学ぶ。</p>	<p>浙江理工大学プログラム (中国)</p> <p>4週間・奨学金により参加費免除</p> <p>中国語を集中的に学習。未習者から上級者までのレベルの学生も参加可能。最終日は上海で日系企業の中国展開に関するセミナーに参加、佐賀県人会の方々と交流を行なう。</p>	<p>釜慶大学プログラム (韓国)</p> <p>2週間・10万円程度</p> <p>佐賀大学から最も近い海外協定校。韓国語と韓国文化を学ぶプログラム。午前は韓国語授業、午後は韓国茶芸、テコンドー、韓国伝統音楽、韓国料理などの文化体験に参加。</p>
<p>シドニー工科大学プログラム (オーストラリア)</p> <p>5週間・約48万円</p> <p>英語圏への留学に必要なアカデミックイングリッシュを身につけるコースに参加。シドニー工科大学で日本語を学ぶ学生がバディになり、放課後や週末を楽しむ。</p>	<p>中興大学プログラム (台湾)</p> <p>3週間・約7万円</p> <p>中国語授業や台湾社会・文化を学ぶ視察や体験活動に参加。中興大学の海外協定校から集まる学生との交流を通して英語もブラッシュアップ。</p>	<p>留学のための経済的支援が充実</p> <p>交換留学をする佐賀大生の100%、短期海外研修に参加する94%が最大10万円の奨学金を受給しています。(H28年度)</p>		
<p>香港中文大学学生交流プログラム (中国)</p> <p>10日間・奨学金により参加費免除</p> <p>香港中文大学の学生と毎日活動を共にし、授業聴講、視察、合宿などを通して香港の社会や政治、文化について学ぶ。1、2年生向け。</p>	<p>ガジャマダ大学プログラム (インドネシア)</p> <p>3週間・約14万円</p> <p>インドネシアの都市と村落の今を学ぶ。世界各地からの学生と英語による講義、視察、グループワーク、ホームステイなどに参加。ジャカルタでは活気溢れる街の様子を視察や佐賀県人会や佐賀大学同窓生との交流を行う。</p>	<p>きめ細やかなサポート</p> <p>留学のイロハから気軽に相談できる学生ピアサポーターや、派遣担当教員による学生の関心やキャリアプランに適した留学計画の立て方、留学先の選び方などについてのアドバイジングなどきめ細やかな支援があります。</p>		

※H27～28年度に国際交流推進センターが実施したプログラム。
※費用はプログラム参加費のみを表示。別途、現地での生活費がかかります。



海外で学び、経験する佐賀大生が増えています!



参加者の声



カーティン大学プログラム 2016年春

理工学部 4年 **古賀 文也**
(福岡県立伝習館高等学校出身)

◀ 古賀さんは下段左

新たな友達、新たな課題など大学2年になって大学生活にも慣れた出会いが少なくなっている私にとって、このシンガポールでの一カ月はわくわくが止まらないとても充実した日々でした。一カ月の間に3回のプレゼンテーション、2回のエッセイテスト、他にも毎日の課題で大変な日々でしたが英語力を向上させるためにはとても良い環境でした。そんな充実した日々を過ごしているからこそ、自分を成長させるための新たな課題にたくさん出会えたと思います。また、現地でできた友達と夢を語り合ったり、一緒に観光したりし、最後には手紙までもらい、別れるのが辛いと感じるほどの友達が出来ました。こんな大切な出会いや、発見が出来たのもこのようなチャンスをいただき、それにチャレンジした結果だと思います。これからもわくわくすることにチャレンジし、新たな出会いを大切にしていきたいと思っています。



参加者の声



浙江理工大学プログラム 2016年春

医学部 3年 **乗田 侑毅**
(佐賀県立佐賀西高等学校出身)

◀ 乗田さんは上段左

「春休みが暇だ。海外に行きたいな。」無謀で、漠然とした好奇心は、SUSAPを通して最高の春休みになった。奨学金や学習プログラムでお金や言葉の壁はかなり低い。良かった点は、異文化交流・言語学習に触れることができたことだ。だが、個人的に異文化を日本と比較して見つけ、俯瞰し、さらに、自分自身をも客観視することに繋がったことは非常に有意義だった。異文化に強く刺激を受けながら暮らす中で、自分の欠点を改善したり、新たな分野に意欲が湧いたり、自分に自信が持てる箇所を見つけたりした。自分を塗りたくっている日常(日本)から飛び出すことで、素の自分が見えてきた。時間を意義あるものに創造することで、予想外の収穫間違いなしぜひ好奇心を武器に行動を。



海外協定校への交換留学

佐賀大学の世界中に広がるネットワーク、学術交流協定校(部局間協定を含む)に最大1年間の交換留学が可能です。交換留学は在学期間として認められており、近年では1年間の交換留学をしても4年間で卒業する佐賀大生が増えています。

H28年度に佐賀大学生が留学した協定校

国名	大学名	人数
アメリカ	スリッパリーロック大学	3
	バシフィック大学	1
カナダ	マニトバ大学	1
イギリス	イーストアングリア大学	1
ドイツ	ドレスデン工科大学	2
フィンランド	ユバスキュラ大学	1
リトアニア	ヴィタウタスマグヌス大学	2
オーストラリア	シドニー工科大学	1

国名	大学名	人数
韓国	国民大学校	4
	全南大学	1
	大邱大学	1
	培材大学校	1
中国	北京工業大学	6
台湾	国立政治大学	1
合計		26

H28年2月より一年間 中国・北京工業大学へ交換留学

佐賀から世界へ

山下 雄大 佐賀大学理工学機能物質化学科 4年
(宮崎県立日南高等学校)



国際交流なんて興味はなかった

大学入学前、私は全く留学など考えておらず、入学後も留学生との交流は全くありませんでした。当時、英語を話して意思の疎通をとるなど全くの論外。何か新しいことに挑戦したいという気持ちも特にはありませんでした。忘れもしない大学二年の四月、偶然同じ授業を履修していた中国と韓国からの留学生と運命的な出会いをし、生まれて初めて外国の友人が出来ました。佐賀大学で勉学に励む留学生の多くは日本語習得を目指しており、外国語力が乏しい私でも彼らと日本語で十分に交流ができ、大きな壁を感じることはありませんでした。異文化のバックグラウンドを持つ友人達との交流の中で毎回、新しい発見、驚き、感動、そして共感があり、気付いたら“国際交流”の楽しさに目覚めていました。

語学力ほぼ0で留学へ

中国や台湾の友人と彼らの母国語である“中国語”で彼らとコミュニケーションをとりたいという思いから、大学四年目の春、私は進級せず中



国の北京工業大学へ留学しました。英語が乏しく、それまでに中国語の語学学習の経験がないため、何度も何度も生活や授業の中で挫折を味わいましたが、それでも学内、学外問わずチャンスがあれば、時間や場所を問わず、恥を捨てて積極的に乏しい英語、中国語を使い練習をしました。学内では一年を通して新年会、ハロウィンパーティや運動会など多くのイベントが中国人学生や大学側から企画されていたため、こういったイベントに積極的にに関わり、参加することで中国の友人、また他の留学生の輪を広げることができました。留学中、返還義務のない月六万円の奨学金を受給していたので金銭的な問題は特になかったです。中国は日本に比べ物価が安いので使い切らず余った分を利用して、長期休暇に香港から北京まで中国大陸を縦断もしました。中国語を使って中国人学生と交流し共に多くの体験をしながら、半年経った頃からふと「おれ、こんなに話せたっけ?」と自分の語学力の向上に気づき、留学を終えた頃にはかなり成長を実感できるまでになっていました。

留学の壁は決して大きくない

理系で語学力の乏しかった私が長期留学を終えて間違いなく断言できるのは、留学への壁は決して大きくないということです。理系の学生でも語学留学のチャンスはあります。また語学力の問題なんて自分の努力次第でなんとかなります。佐賀大学は留学支援制度がかなり充実しており、どの学生も手厚いサポートを受けることが出来ます。海外や留学生との交流に興味があるけれども、最初の一步踏み出せていない学生の皆さん、まずは定期的実施される短期留学説明会や留学生との交流活動に足を運んでみましょう。一步を踏み出せば、さらにもう一步も勝手に踏み出します。自分から留学に対して大きな壁を作ることなく、世界に視野を広げてみませんか。



トビタテ! 留学JAPAN日本代表プログラム



「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」は、2014年からスタートした官民協働で取り組む海外留学支援制度です。2020年までの7年間で約1万人の高校生、大学生を「トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム」の派遣留学生として送り出す計画です。派遣留学生は支援企業と共にグローバル人材コミュニティを形成し、産業界を中心に社会で求められる人材、世界で、又は世界を視野に入れて活躍できる人材へ育つことが期待されます。また、帰国後は海外体験の魅力を伝えるエヴァンジェリスト(伝道師)として日本全体の留学機運を高めることに貢献することが期待されています。

本学では、これまで15名の佐賀大学生が採択され、世界各国に留学しています。

また、2016年から佐賀県地域では「地域人材コース」による海外留学支援も行っています。

地域人材コース「世界とともに発展するSAGANグローバル人材育成事業」

さが地方創生人材育成・活用推進協議会(事務局:佐賀大学)では、佐賀県地域の企業からの寄附に加え、佐賀県及び文部科学省官民協働海外留学創出プロジェクトからの支援により、海外留学と県内企業でのインターンシップを組み合わせた海外留学支援事業を新たに創設しました。佐賀県地域の企業等に就職する等、将来の佐賀県地域の発展に貢献することを希望する学生が対象です。

- 1) 県内のものづくり活性化のための国内外インターンシッププログラム
- 2) 唐津コスメティック構想の実現や県内農産品輸出促進・県内農業活性化のための国内外インターンシッププログラム
- 3) やきものを中心としたアートやアートプロジェクトによる地域振興のための国内外インターンシッププログラム
- 4) インバウンドが期待される、佐賀県が撮影誘致する映画・映像制作における国内外インターンシッププログラム
- 5) その他、佐賀県地域の活性化につながるグローバル課題解決型プログラム

佐賀大卒業生は海外での学びを今どのように活かしているのでしょうか?



株式会社JTB九州佐賀支店勤務
藤野 貴大
(文化教育学部人間環境課程 平成26年3月卒)

ベトナムでの交換留学中、ベトナム人や多国籍の仲間と共に過ごし、異文化・多宗教への寛容な気持ちの大切さを学ぶ。将来は世界と九州の架け橋になり、地域を元気にしたい。



中国・清華大学大学院
化学系修士課程在籍
新野 公介
(理工学機能物質化学科 平成26年3月卒)

「現状を打破したい」というモヤモヤ感から、短期海外研修に参加。その後、1年間の北京での交換留学で中国語をマスターし、中国の名門大学院へ進学。中国でのSNSフォロワーは40万人。日中友好に貢献したい。



佐賀県国際交流協会勤務
永田 さつき
(文化教育学部国際文化課程 平成27年3月卒)

韓国留学を経験しなければ、異国に住む外国人の目線でものを考えることができなかったと思う。自分の関心事や可能性を探る大切な学生時代に留学を選択し、新しい自分の一面を知ることにもなった。



豪・アデレード大学大学院
生医学修士課程在籍
家弓 紗矢香
(農学部生命機能科学科 平成27年3月卒)

学部3年生の春休みに大学の短期研修でオークランド大学に留学。現地の学生の姿を見て、海外の大学院への進学を考え始める。世界で活躍できる科学者を目指し、厳しいけれども充実した研究生生活を送っている。

